

# NIIGATA NEW FOOD VALLEY PROJECT

## 新潟市農業活性化研究センターのご紹介

さらなる農業振興を図るため、以下の取り組みにより、農業の技術上・ビジネス上の課題解決をサポートするほか、農商工連携や6次産業化の拠点として、農業者を積極的に支援する施設です。

- ・生産技術の研究
- ・各分野の専門家による農産物の付加価値向上の相談対応
- ・農業者や食品関係者向けのセミナー開催
- ・食の技術コーディネーターによるコンサルティング など

■お問い合わせ先

新潟市南区東笠巻新田3043番地1 電話：025-362-0151



## 食品関連企業支援メニュー

食品関連企業の商品開発や販路拡大の主な支援メニューをご紹介します。

### ●コンサルティング事業

中小企業等の経営上の課題解決のため、プロジェクトマネージャーや食の技術コーディネーターを中心に、戦略立案から販路拡大に至るまで、一貫した相談に応じます。

### ●食の売れる仕組みづくり推進事業

実践連続講座やセミナーの開催により、フードデザイン（食の売れる仕組みづくり）の普及・実践を進め、売れる商品の開発を支援します。

### ●にいがた食ビジネス創出支援事業

「新潟らしい」商品開発をテーマに情報提供や商談会を行い、新潟発の新商品やサービスの創出を推進します。

### ●食のマーケットイン支援事業

新商品開発・既存商品改良から販路拡大まで、販路拡大計画の策定や補助金の交付など、一貫したハンズオン支援を実施します。

### ●食の研究開発成果プロモーション事業

産学官の共同研究体により開発した新たな発酵食材の普及を推進し、地域の食品製造業の競争力向上を図ります。

### ●見本市共同出展事業

国際食品・飲料展（FOODEX JAPAN）へ新潟IPC財団と共同出展する場合、出展小間料を補助します。

### ●見本市出展補助事業

中小企業等が県外・海外の見本市へ出展する場合、経費の一部を補助します。

### ●消費者モニター調査支援事業

自社商品を持つ中小企業等に、最終消費者の意見を聴く機会を提供し、商品の開発や改良を支援します。

### ●食の高付加価値化支援事業

中小企業等が食品の機能性を調査できる環境を提供し、付加価値の高い商品の開発を支援します。

このほかにも、各種ご相談に応じますので、お気軽にご活用ください。

## お問い合わせ

新潟市経済・国際部産業政策課 ニューフードバレー推進室  
〒951-8550 新潟県新潟市中央区学校町通1番町602番地1  
電話：025-226-1641 FAX：025-224-4347

平成25年11月28日作製

# 新潟ニュー フードバレー PROJECT

NIIGATA  
NEW FOOD VALLEY

新しいネットワークと  
イノベーションが  
食産業No.1都市  
を創出する

PROJECT



# NIIGATA NEW FOOD VALLEY PROJECT

## 高い都市機能を持つ、大農業都市—新潟市

環日本海地域の拠点空港として発展する新潟空港をはじめ、新潟港、新幹線、高速自動車道路など高い都市機能を持つとともに、国内最大の水田面積を持つ大農業都市—新潟市。食料自給率では政令市 No.1、農業産出額では全国 No.3 である実力を生かし、食産業のさらなる発展を目指します。



# NIIGATA NEW FOOD VALLEY PROJECT

新潟ニューフードバレーの形成に向けて、  
ビジョンを掲げ、食産業No.1都市を目指し、  
7つの戦略に取り組みます。

## VISION

食産業No.1都市を目指し、フードデザインをひろめ、  
新たなネットワークを創り、イノベーションを起こし続けます。

**FOOD DESIGN**

食の戦略として、マーケティングを基本とした  
売れる商品・仕組みづくりの普及・実践を進め  
ます。また、新商品の開発や域外への販路拡大  
にも取り組みます。

**NETWORK**

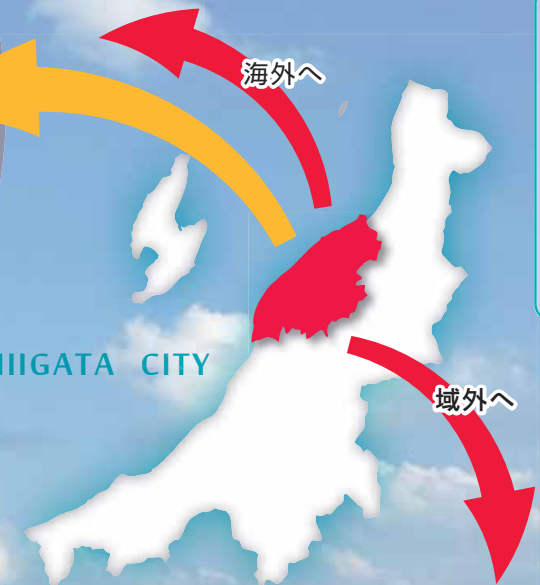
農商工連携を中心にネットワーク化を図り、食  
に関するあらゆる情報をプラットフォーム化し  
てマッチングを図ります。また、このネット  
ワークを活かし、食品リサイクルを進め循環型  
社会の実現を目指します。

**INNOVATION**

産学官連携など域内ネットワークの強化ととも  
に、域外の企業や研究機関との提携・共同研究  
も視野に入れ、「市場ニーズを満たし、国際競  
争力ある高付加価値」を有する新たな食関連商  
品の持続的な創出を目指します。

豊かな自然と文化が息づく田園文化都市にいがた。  
新潟市は、食料自給率の高さからもうかがえるように、豊富でおいしい食材に恵まれ、  
農業はもとより食品関連産業の集積地として発展してきました。  
食料品製造出荷額が市内製造業の約21%を占めるなど、新潟市の産業をリードする食産業全体が連携し、  
成長産業として一体となって発展する新たな姿を目指し、新潟ニューフードバレーの形成に向けて取り組みます。

## 新潟ニューフードバレー形成



- ◆ 国立大学法人新潟大学
- ◆ 新潟県立大学
- ◆ 新潟薬科大学
- ◆ 新潟医療福祉大学
- ◆ 新潟県農業総合研究所食品研究センター
- ◆ 新潟県醸造試験場
- ◆ 新潟県水産海洋研究所
- ◆ 新潟市農業活性化研究センター
- ◆ 新潟市バイオリサーチセンター ほか



## 食 産業の集積地として発展

米の加工品をはじめ食品関連産業が集積し、すでにフードバレーとしての実力を持つ新潟市。その農業や食品産業の実力などを紹介します。

- 食料自給率63%(平成17年)政令市の中で第1位
- 販売農家数9,683戸(平成22年)全国市で第1位
- 農業産出額655億円(平成18年)全国市で第3位
- 食料品製造出荷額2,246億円(平成23年)市内製造業の21%
- 食料品製造業事業所数242社(平成23年)市内製造業事業所数の22%

## 高 度な教育・研究機関が充実

新潟には企業の研究開発、事業の高度化・高付加価値化に欠かせない充実した教育機関・研究機関が設置されています。

## 7 7つの取り組み

1 **フードデザインの普及・実践**  
食の売れる商品・仕組みづくりを普及・実践し、新商品の開発や販路拡大に努めます。  
● 食の売れる仕組みづくり推進事業 ● 食のマーケットイン支援事業

2 **新潟ブランドの構築・情報発信**  
食のブランド価値を向上させ、域内・外への販路拡大に取り組みます。  
● 新潟の食ブランド向上提案型モデル事業 ● 食の関西販路拡大支援事業

3 **域内・外ネットワークの構築**  
食産業や大学・研究機関とのネットワークを広げ、商品開発等を進めます。  
● にいがた食ビジネス創出支援事業 ● 新潟ニューフードバレー推進会議の開催



4 **農商工連携と6次産業化の推進**  
農商工連携と6次産業化を進め、地域ビジネスの展開や新たな産業の創出を促進します。  
● 農業活性化研究センター研究事業 ● 6次産業化サポート事業

5 **食品リサイクルの推進**  
循環型社会の実現に向け、食品リサイクルのモデル事業を着実に進めます。  
● 学校給食残さ餌料化事業 ● 生ごみ堆肥地域活動支援事業

6 **高度な研究開発基盤の整備**  
産学共同研究の推進や、知財の集積、研究者等の人材ネットワークを構築します。  
● 産学連携研究開発コーディネーター機能の強化 ● 大学・研究機関の研究者等のネットワーク構築

7 **高機能・高付加価値開発と人材育成**  
企業・大学・研究機関で研究開発を進め、人材育成にも努めます。  
● 食の高付加価値化支援事業 ● 食の研究開発成果プロモーション事業



このパンフレットに掲載した写真は、「新潟観光コンベンション協会」の利用許諾を得ています。